

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和元年度分)

施設名 松江市立東津田児童館
 指定管理者 社会福祉法人松江福祉会
 担当課 子育て政策課
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 地域の方や児童館利用者OBなど様々な立場からの協力を得て、活動内容を工夫しており利用者や事業参加者の増加につながり、また参加者からの高評価につながっている。 児童館活動において、定期的に「子ども委員会」を開催し、児童館を利用するルールを自ら考える場を持たせることにより、子どもたちの自主的な活動に繋がっている。 【評価できない、または改善すべき点】 長期休業期間中の利用者増に伴う利用者への対応については、市、指定管理者、地域が連携し工夫しながら引き続き対処していく。
	A	【優れていると評価した点】 利用者の声をもとに、バランスよく様々な経験ができるよう行事を企画した。家庭ではできないことができる、大変喜ばれている。館内整備では、遊具の配置を見直したり、荷物置き場を整えたりし、静と動の活動を区別したことで、同じ空間で乳幼児から小中学生まで、幅広い年齢の子どもが満足して遊ぶことができると喜ばれている。児童館まつりでは、テーマを“地域で育てる未来の宝”とし、異年齢での交流に力を入れた。元年度は、小、中学生、高校生がそれぞれのブースを自分たちで企画、運営した。特に小学生は、夏休みから継続して行っていた“アイロンビーズ”“くじやさん”を合わせて行い、子ども達の満足感や成長へとつながった。来館者にも児童館の持つ役割について、知っていただく機会となったと思う。 【評価できない、または改善すべき点】 長期休み中、小中学生の利用が非常に多く、特に広場で満足するまで遊ぶことができないことがあり、子どもたちから不満の声が上がることもある。限られた予算や職員配置のなかでは十分に対応できないこともあるので、松江市、地域、指定管理者で良い方法を考えたい。

2. 施設利用の増減について

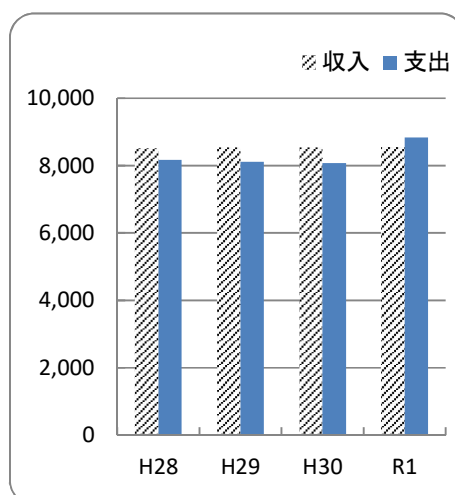
総括		令和元年度年間利用者数 19,677人(対前年比110.7%) 子育て支援事業では、行事内容を工夫することで子ども同士だけでなく親同士のつながりもでき好評を得ている。 児童館活動では、子どもたちが主体的に活動できる行事を計画した。 放課後利用事業では、長期休業期間の利用が多いことから、子どもたちが主体的に活動を行えるよう支援を行った。

(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）（千円）

項目\年度		H28	H29	H30	R1
施設の収支	収入	8,513	8,540	8,539	8,550
	うち指定管理料	8,254	8,254	8,254	8,216
	うち利用料	259	286	285	334
	支出	8,172	8,112	8,076	8,840
	差引	341	428	463	△ 290

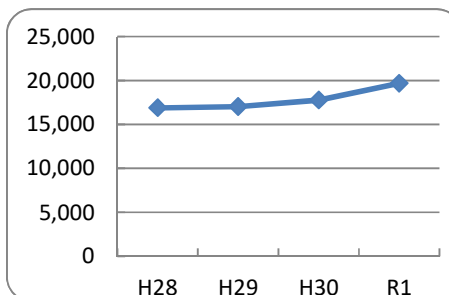
上記以外の市の収入、支出

市の収支	収入(使用料)	0	0	0	0
	支出	65	94	94	302
	うち市の修繕費	0	0	0	0



(2) 利用者の推移

	H28	H29	H30	R1
(人)	16,887	17,027	17,769	19,677



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	①延べ利用者数(人／年)	14,700	16,000	19,677	123.0%	133.9%
	②利用者アンケート満足度(%)	70	70	93	132.9%	132.9%
アウトカム	児童福祉及び地域福祉の向上	-	-	-		
				達成度 平均	127.9%	133.4%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取り組みの内容、次期に向けた課題】 地域の特技を持った方を講師として招き、指導をお願いした。母親達向けの講座も、リフレッシュできる、と大変好評であった。小中学生は自主的な活動を大切に、定期的に“子ども委員会”を開催し、自分達でルールを決めたり、お楽しみ会の内容を決めたりすることを大切にしている。次期に向けての課題は、近年長期休み期間中、小学生の利用が非常に多いので、安全に遊ぶことができるよう見守るため、人員配置を工夫することである。	【達成度の原因・分析】 季節感や風習を取り入れた活動や家庭ではなかなか経験できない体験を経験できる活動など、事業内容に工夫をこらした取り組みを行うことで良好な達成度を得ている。 長期休業期間中の利用者増大については、地域の協力を得ながら、人員配置を工夫するなど予算の範囲内で対策を図りたい。

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
313	①満足している 308件(98.4%) ②どちらともいえない 4件(1.3%) ③満足していない 1件(0.3%)	①良い 名前を覚えて笑顔で接してもらい楽しい雰囲気で遊ばせてもらってうれしい。一生懸命丁寧に対応してもらって、親子皆で楽しい時間を過ごせている。温かく見守ってくださり感謝している。 ②苦情 ③要望 遊具を増やしてほしい。ブランコや滑り台が欲しい。

(4)住民サービス向上の事例

地域の方や児童館利用者OBなど様々な立場からの協力を得て、活動内容を工夫しており利用者や事業参加者の増加につながり、また参加者からの高評価につながっている。
児童館活動において、定期的に「子ども委員会」を開催し、児童館を利用するルールを自ら考える場を持たせることにより、子どもたちの自主的な活動に繋がっている。

3. 自主事業

総括	地元町内会、日ごろから児童館を利用し活動しているサークルの協力のもと、盛大に開催した。今年度はテーマを「地域で育てる地域の宝」とし、異年齢の交流に力を入れた。小学生、中学生、高校生それぞれのブースを作り、年齢にあった内容を企画、運営した。どのコーナーも来館者に大変好評で、喜ばれることで運営した子どもたち自身が万側管を感じられたことが大きな成果であった。子どもたちが生き生きとして参画している姿を見ることで、来館者へ未来の児童館の姿を伝えることができた。
実施状況	「児童館まつり」 令和元年11月3日(日)開催 参加者数:690人

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

定期的なアンケートの実施により、それぞれの事業で利用者の希望や意見を取り入れ、積極的に行事に反映されたい。
